

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	2025年7月18日まで（2010年9月30日設定）
運用方針	日本国債20年型マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の国債を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。運用にあたっては、残存期間20年程度までの国債を各年限ごとに分散して組み入れます。運用の効率化を図るため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。
主要運用対象	ベビー ファンド 日本国債20年型マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の国債に直接投資することがあります。
	マザーファンド わが国の国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビー ファンド 外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。

## 運用報告書（全体版）

三菱UFJ 日本国債ファンド  
(毎月決算型)

第160期（決算日：2024年2月20日）

第161期（決算日：2024年3月21日）

第162期（決算日：2024年4月22日）

第163期（決算日：2024年5月20日）

第164期（決算日：2024年6月20日）

第165期（決算日：2024年7月22日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）」は、去る7月22日に第165期の決算を行いましたので、法令に基づいて第160期～第165期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

## 投資環境

当期間の国内金利は、日銀によるイールドカーブ・コントロールの撤廃やマイナス金利解除などを背景に、上昇しました。

## 運用のポイント

イールドカーブ分析に基づく保有年限の調整や金利見通しに基づいたデュレーション（平均回収期間や金利感応度）の調整を行いました。

## イールドカーブ分析に基づく保有年限の調整

国内債券市場では、イールドカーブについて年限毎に割高・割安が生じていると見ております。8年近辺および15年近辺については、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。一方13年近辺および18年近辺については、他の年限に比べ割高と判断していることから、比較的少なめに保有しております。

## 金利見通しに基づいたデュレーションの調整

期間の初めから2024年4月下旬にかけては、中立を中心に機動的にデュレーションを調整しました。当期間末にかけては、日銀金融政策の更なる修正観測などを背景に金利上昇しやすい展開を見込み、比較的短めを中心にデュレーションを調整しました。

## 運用環境の見通しおよび今後の運用方針

国内金利は、日銀金融政策や米国金利動向などを睨みながら、当面は神経質な展開が続くものと見ております。

今後もイールドカーブ分析や銘柄間の割高・割安分析、金利見通しなどに基づいた運用を行っていく所存です。



債券運用部  
ファンドマネージャー  
太田 裕

## 本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額				(参考指數) NOMURA-BPI/Ladder 20年	債組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配金	み期騰落率	中率			
136期(2022年2月21日)	円 9,502		円 10	△0.9	180.47	% △0.9	% 97.0	% —
137期(2022年3月22日)	9,479		10	△0.1	180.27	△0.1	98.5	—
138期(2022年4月20日)	9,442		10	△0.3	179.75	△0.3	97.2	—
139期(2022年5月20日)	9,444		10	0.1	180.05	0.2	97.2	1.3
140期(2022年6月20日)	9,342		10	△1.0	178.29	△1.0	95.4	1.4
141期(2022年7月20日)	9,371		10	0.4	178.98	0.4	93.3	2.7
142期(2022年8月22日)	9,410		10	0.5	179.90	0.5	92.3	2.7
143期(2022年9月20日)	9,320		10	△0.9	178.40	△0.8	98.3	△4.2
144期(2022年10月20日)	9,226		10	△0.9	176.68	△1.0	98.4	△2.8
145期(2022年11月21日)	9,283		10	0.7	177.90	0.7	98.0	—
146期(2022年12月20日)	9,152		10	△1.3	175.49	△1.4	98.6	—
147期(2023年1月20日)	9,097		10	△0.5	174.66	△0.5	95.5	—
148期(2023年2月20日)	9,038		10	△0.5	173.69	△0.6	94.4	—
149期(2023年3月20日)	9,283		10	2.8	178.68	2.9	93.1	—
150期(2023年4月20日)	9,177		10	△1.0	176.85	△1.0	95.6	△5.0
151期(2023年5月22日)	9,279		10	1.2	179.07	1.3	95.1	△5.1
152期(2023年6月20日)	9,270		10	0.0	179.19	0.1	93.7	—
153期(2023年7月20日)	9,189		10	△0.8	177.77	△0.8	92.9	—
154期(2023年8月21日)	9,032		10	△1.6	174.94	△1.6	97.8	—
155期(2023年9月20日)	8,985		10	△0.4	174.17	△0.4	98.6	—
156期(2023年10月20日)	8,881		10	△1.0	172.34	△1.1	94.1	—
157期(2023年11月20日)	8,969		10	1.1	174.34	1.2	90.8	3.7
158期(2023年12月20日)	9,104		10	1.6	177.20	1.6	96.8	—
159期(2024年1月22日)	9,020		10	△0.8	175.84	△0.8	96.0	—
160期(2024年2月20日)	8,962		10	△0.5	174.98	△0.5	94.7	—
161期(2024年3月21日)	8,946		10	△0.1	174.84	△0.1	93.7	—
162期(2024年4月22日)	8,840		10	△1.1	173.00	△1.1	93.6	—
163期(2024年5月20日)	8,758		10	△0.8	171.59	△0.8	97.8	—
164期(2024年6月20日)	8,760		10	0.1	171.90	0.2	91.0	—
165期(2024年7月22日)	8,694		10	△0.6	170.79	△0.6	91.3	—

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 20年とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している期間20年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指數の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指數の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指數を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額	(参考指數) NOMURA-BPI/Ladder 20年		債券組入比率	債券先物比率
			騰落率	騰落率		
第160期	(期首) 2024年1月22日	円 9,020	% —	175.84	% —	% 96.0
	1月末	8,958	△0.7	174.66	△0.7	94.1
	(期末) 2024年2月20日	8,972	△0.5	174.98	△0.5	94.7
第161期	(期首) 2024年2月20日	8,962	—	174.98	—	94.7
	2月末	8,980	0.2	175.28	0.2	94.4
	(期末) 2024年3月21日	8,956	△0.1	174.84	△0.1	93.7
第162期	(期首) 2024年3月21日	8,946	—	174.84	—	93.7
	3月末	8,963	0.2	175.16	0.2	93.7
	(期末) 2024年4月22日	8,850	△1.1	173.00	△1.1	93.6
第163期	(期首) 2024年4月22日	8,840	—	173.00	—	93.6
	4月末	8,838	△0.0	173.07	0.0	90.9
	(期末) 2024年5月20日	8,768	△0.8	171.59	△0.8	97.8
第164期	(期首) 2024年5月20日	8,758	—	171.59	—	97.8
	5月末	8,696	△0.7	170.29	△0.8	93.9
	(期末) 2024年6月20日	8,770	0.1	171.90	0.2	91.0
第165期	(期首) 2024年6月20日	8,760	—	171.90	—	91.0
	6月末	8,705	△0.6	170.76	△0.7	90.8
	(期末) 2024年7月22日	8,704	△0.6	170.79	△0.6	91.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第160期～第165期：2024年1月23日～2024年7月22日

## 〉当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移

(円)

(百万円)

9,200

40,000

9,000

30,000

8,800

20,000

8,600

10,000

8,400

0

2024/1/22

2024/3/21

2024/5/21

2024/7/17

— 分配金再投資基準価額：左目盛

--- 参照指数：左目盛

■ 純資産総額：右目盛

— 基準価額：左目盛

第160期首	9,020円
第165期末	8,694円
既払分配金	60円
騰 落 率	−3.0%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 下落要因

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第160期～第165期：2024年1月23日～2024年7月22日

## 〉投資環境について

### ► 債券市況

**国内金利は上昇しました。**

当期間の国内金利は、日銀によるイール

ドカーブ・コントロールの撤廃やマイナス金利解除などを背景に、上昇しました。

## 〉当該投資信託のポートフォリオについて

### ► 三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）

当ファンドは日本国債20年型マザーファンドを通じて、わが国の国債を実質的な主要投資対象としています。マザーファンドへの投資比率は、運用の基本方針にしたがい概ね100%を維持しました。

### ► 日本国債20年型マザーファンド

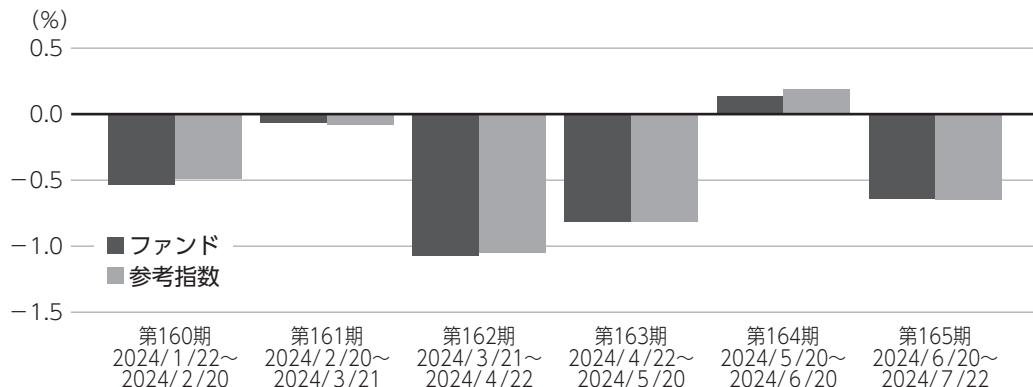
残存期間20年程度までの国債を各年限に分散して組み入れました。

8年近辺および15年近辺については、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。一方13年近辺および18年近辺については、他の年限に比べ割高と判断していることから、比較的少なめに保有しております。ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、7.5～9.3程度で調整しました。

第160期～第165期：2024/1/23～2024/7/22

## 〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

## 基準価額と参考指標の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指標の騰落率との対比です。

参考指標はNOMURA-BPI/Ladder 20年です。

## 》分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第160期 2024年1月23日～ 2024年2月20日	第161期 2024年2月21日～ 2024年3月21日	第162期 2024年3月22日～ 2024年4月22日	第163期 2024年4月23日～ 2024年5月20日	第164期 2024年5月21日～ 2024年6月20日	第165期 2024年6月21日～ 2024年7月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	<b>10</b> (0.111%)	<b>10</b> (0.112%)	<b>10</b> (0.113%)	<b>10</b> (0.114%)	<b>10</b> (0.114%)	<b>10</b> (0.115%)
当期の収益	2	2	2	2	3	0
当期の収益以外	7	7	7	7	6	9
翌期繰越分配対象額	618	610	603	595	589	579

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

### ▶三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）

日本国債20年型マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

### ▶日本国債20年型マザーファンド

安定した利子収入確保などをめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、当面7.6程度とし環境変化に合わせて調整する方針です。

2024年1月23日～2024年7月22日

## 〉1万口当たりの費用明細

項目	第160期～第165期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	12	0.140	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(6)	(0.064)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(6)	(0.064)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.012)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.002	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	12	0.142	

作成期中の平均基準価額は、8,849円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

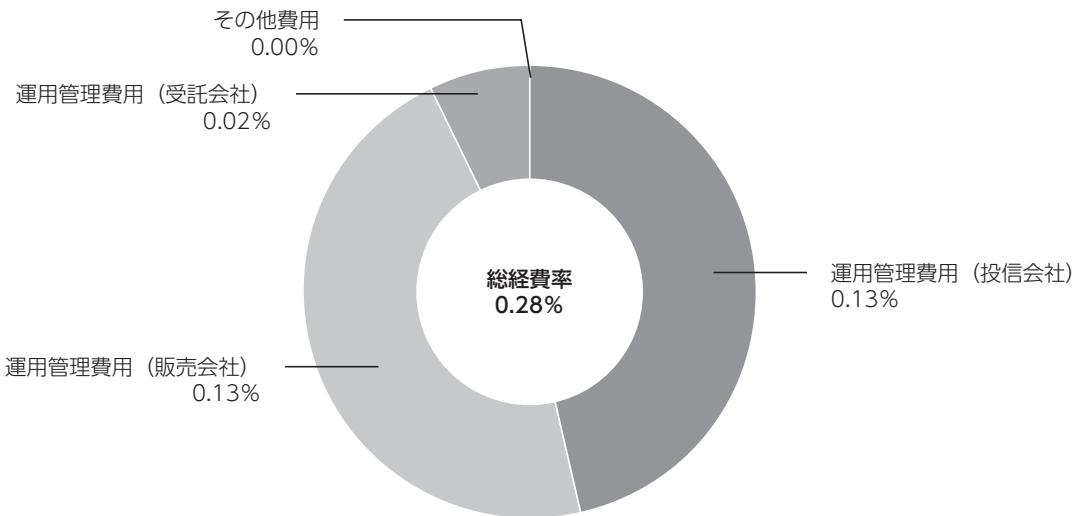
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.28%**です。



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年1月23日～2024年7月22日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第160期～第165期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本国債20年型マザーファンド	千口 98,252	千円 112,697	千口 924,942	千円 1,073,667

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年1月23日～2024年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）&gt;

該当事項はございません。

## &lt;日本国債20年型マザーファンド&gt;

区 分	第160期～第165期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 5,622	百万円 402	% 7.2	百万円 6,824	百万円 2,007	% 29.4

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

## ○組入資産の明細

(2024年7月22日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第159期末		第165期末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
日本国債20年型マザーファンド	千口 6,256,712	千口 5,430,022	千円 6,223,891	

## ○投資信託財産の構成

(2024年7月22日現在)

項目	第165期末	
	評価額	比率
日本国債20年型マザーファンド	千円 6,223,891	% 99.5
コール・ローン等、その他	33,407	0.5
投資信託財産総額	6,257,298	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第160期末	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末
	2024年2月20日現在	2024年3月21日現在	2024年4月22日現在	2024年5月20日現在	2024年6月20日現在	2024年7月22日現在
(A) 資産	円 7,199,045,974	円 6,986,563,009	円 6,791,814,307	円 6,616,232,003	円 6,442,251,099	円 6,257,298,442
コール・ローン等	21,476,862	19,533,145	18,842,036	20,273,035	18,240,553	18,901,561
日本国債20年型マザーファンド(評価額)	7,138,785,521	6,952,783,827	6,756,384,060	6,579,511,364	6,411,938,271	6,223,891,430
未収入金	38,783,591	14,246,004	16,588,178	16,447,569	12,072,244	14,505,418
未収利息	—	33	33	35	31	33
(B) 負債	円 52,891,239	円 18,480,716	円 39,505,000	円 47,918,835	円 61,714,680	円 39,977,468
未払収益分配金	7,973,717	7,788,672	7,638,334	7,499,445	7,283,618	7,150,962
未払解約金	43,503,745	9,273,261	30,384,926	39,162,517	53,081,337	30,199,016
未払信託報酬	1,394,764	1,399,705	1,461,816	1,239,972	1,331,579	2,609,298
未払利息	2	—	—	—	—	—
その他未払費用	19,011	19,078	19,924	16,901	18,146	18,192
(C) 純資産総額(A-B)	円 7,146,154,735	円 6,968,082,293	円 6,752,309,307	円 6,568,313,168	円 6,380,536,419	円 6,217,320,974
元本	7,973,717,452	7,788,672,388	7,638,334,102	7,499,445,710	7,283,618,994	7,150,962,481
次期繰越損益金	△ 827,562,717	△ 820,590,095	△ 886,024,795	△ 931,132,542	△ 903,082,575	△ 933,641,507
(D) 受益権総口数	7,973,717,452口	7,788,672,388口	7,638,334,102口	7,499,445,710口	7,283,618,994口	7,150,962,481口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,962円	8,946円	8,840円	8,758円	8,760円	8,694円

## ○損益の状況

項目	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
	2024年1月23日～ 2024年2月20日	2024年2月21日～ 2024年3月21日	2024年3月22日～ 2024年4月22日	2024年4月23日～ 2024年5月20日	2024年5月21日～ 2024年6月20日	2024年6月21日～ 2024年7月22日
(A) 配当等収益	円	円	円	円	円	円
受取利息	△ 82	△ 51	1,207	1,079	1,125	1,146
支払利息	9	33	1,207	1,079	1,125	1,146
(B) 有価証券売買損益	△ 36,594,984	△ 3,050,821	△ 72,128,717	△ 52,424,600	9,965,193	△ 36,465,073
売買益	836,597	316,379	531,987	374,628	11,733,210	1,634,424
売買損	△ 37,431,581	△ 3,367,200	△ 72,660,704	△ 52,799,228	△ 1,768,017	△ 38,099,497
(C) 信託報酬等	△ 1,413,775	△ 1,418,783	△ 1,481,740	△ 1,256,873	△ 1,349,725	△ 2,627,490
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 38,008,841	△ 4,469,655	△ 73,609,250	△ 53,680,394	8,616,593	△ 39,091,417
(E) 前期繰越損益金	△552,244,706	△576,533,219	△569,729,431	△631,349,522	△664,566,319	△634,016,724
(F) 追加信託差損益金	△229,335,453	△231,798,549	△235,047,780	△238,603,181	△239,849,231	△253,382,404
(配当等相当額)	( 498,802,815)	( 481,485,415)	( 466,249,055)	( 452,235,081)	( 433,616,402)	( 421,212,458)
(売買損益相当額)	(△728,138,268)	(△713,283,964)	(△701,296,835)	(△690,838,262)	(△673,465,633)	(△674,594,862)
(G) 計(D+E+F)	△819,589,000	△812,801,423	△878,386,461	△923,633,097	△895,798,957	△926,490,545
(H) 収益分配金	△ 7,973,717	△ 7,788,672	△ 7,638,334	△ 7,499,445	△ 7,283,618	△ 7,150,962
次期繰越損益金 (G+H)	△827,562,717	△820,590,095	△886,024,795	△931,132,542	△903,082,575	△933,641,507
追加信託差損益金	△235,222,039	△237,864,034	△240,692,140	△244,378,323	△244,444,902	△260,084,983
(配当等相当額)	( 492,924,436)	( 475,425,713)	( 460,610,296)	( 446,465,427)	( 429,026,199)	( 414,553,675)
(売買損益相当額)	(△728,146,475)	(△713,289,747)	(△701,302,436)	(△690,843,750)	(△673,471,101)	(△674,638,658)
繰越損益金	△592,340,678	△582,726,061	△645,332,655	△686,754,219	△658,637,673	△673,556,524

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

①作成期首(前作成期末)元本額 8,192,081,169円

作成期中追加設定元本額 285,415,891円

作成期中一部解約元本額 1,326,534,579円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8694円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は933,641,507円です。

③分配金の計算過程

項目	2024年1月23日～ 2024年2月20日	2024年2月21日～ 2024年3月21日	2024年3月22日～ 2024年4月22日	2024年4月23日～ 2024年5月20日	2024年5月21日～ 2024年6月20日	2024年6月21日～ 2024年7月22日
費用控除後の配当等収益額	2,087,131円	1,723,187円	1,993,974円	1,724,303円	2,687,947円	448,383円
費用控除後・繰越欠損金償填後の有価証券売買等損益額	−円	−円	−円	−円	−円	−円
収益調整金額	498,811,022円	481,491,198円	466,254,656円	452,240,569円	433,621,870円	421,256,254円
分配準備積立金額	−円	−円	−円	−円	−円	−円
当ファンドの分配対象収益額	500,898,153円	483,214,385円	468,248,630円	453,964,872円	436,309,817円	421,704,637円
1万口当たり収益分配対象額	628円	620円	613円	605円	599円	589円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金額	7,973,717円	7,788,672円	7,638,334円	7,499,445円	7,283,618円	7,150,962円

## 〇分配金のお知らせ

	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせくださいか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 日本国債20年型マザーファンド

## 《第14期》決算日2024年7月22日

[計算期間：2023年7月21日～2024年7月22日]

「日本国債20年型マザーファンド」は、7月22日に第14期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の国債を主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。運用にあたっては、残存期間20年程度までの国債を各年限ごとに分散して組み入れます。運用の効率化を図るため、先物取引等を利用して債券の投資比率が100%を超える場合があります。
主要運用対象	わが国の国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	(参考指數) NOMURA-BPI/Ladder 20年		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰落率	中率			
10期(2020年7月20日)	円 12,200	% △1.2	% 182.88	% △1.4	% 95.4	% 1.1 百万円 13,519
11期(2021年7月20日)	12,307	0.9	184.18	0.7	91.5	— 12,754
12期(2022年7月20日)	11,971	△2.7	178.98	△2.8	93.5	2.7 11,085
13期(2023年7月20日)	11,919	△0.4	177.77	△0.7	93.1	— 9,071
14期(2024年7月22日)	11,462	△3.8	170.79	△3.9	91.2	— 6,224

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 20年とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&amp;コンサルティング株式会社が発表している期間20年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指標の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指標の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指標を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	(参考指 数) NOMURA-BPI/Ladder 20年		債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2023年7月20日	円 11,919	% —	177.77	% —	% 93.1
7月末	11,804	△1.0	176.11	△0.9	91.4
8月末	11,738	△1.5	175.04	△1.5	97.5
9月末	11,646	△2.3	173.63	△2.3	97.9
10月末	11,468	△3.8	170.77	△3.9	95.6
11月末	11,741	△1.5	175.07	△1.5	92.2
12月末	11,797	△1.0	175.86	△1.1	96.4
2024年1月末	11,714	△1.7	174.66	△1.8	94.2
2月末	11,758	△1.4	175.28	△1.4	94.5
3月末	11,752	△1.4	175.16	△1.5	93.9
4月末	11,603	△2.7	173.07	△2.6	91.2
5月末	11,432	△4.1	170.29	△4.2	93.6
6月末	11,460	△3.9	170.76	△3.9	90.9
(期末) 2024年7月22日	11,462	△3.8	170.79	△3.9	91.2

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## 基準価額等の推移

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.8%の下落となりました。



(注) 参考指數は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指  
数化しています。

**●基準価額の主な変動要因****(下落要因)**

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

**●投資環境について****◎債券市況**

国内金利は上昇しました。

- 当期間の国内金利は、日銀によるイールドカーブ・コントロールの撤廃やマイナス金利解除などを背景に、上昇しました。

**●当該投資信託のポートフォリオについて**

- 残存期間20年程度までの国債を各年限に分散して組み入れました。8年近辺および15年近辺については、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。一方13年近辺および18年近辺については、他の年限に比べ割高と判断していることから、比較的少なめに保有しております。ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、7.5～9.5年程度で調整しました。

**○今後の運用方針**

- 安定した利子収入確保などをめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。
- ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、当面7.6年程度とし環境変化に合わせて調整する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年7月21日～2024年7月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、11,663円です。			

(注)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年7月21日～2024年7月22日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 14,851,076	千円 17,272,120

(注)金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## 先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国内 債券先物取引	百万円 291	百万円 293	百万円 —	百万円 —

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年7月21日～2024年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	14,851	3,395	22.9	17,272	4,400	25.5

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2024年7月22日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						残存期間別組入比率
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 5,930,000	千円 5,676,287	% 91.2	% —	% 63.3	% 0.8	% 27.1
合計	5,930,000	5,676,287	91.2	—	63.3	0.8	27.1

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利率	当期末			償還年月日
		額面金額	評価額	千円	
国債証券	%			千円	
第446回利付国債(2年)	0.005	80,000	79,968	千円	2025/3/1
第457回利付国債(2年)	0.1	1,130,000	1,127,502	千円	2026/2/1
第459回利付国債(2年)	0.2	460,000	459,342	千円	2026/4/1
第145回利付国債(5年)	0.1	10,000	9,993	千円	2025/9/20
第146回利付国債(5年)	0.1	10,000	9,987	千円	2025/12/20
第150回利付国債(5年)	0.005	10,000	9,917	千円	2026/12/20
第161回利付国債(5年)	0.3	20,000	19,865	千円	2028/6/20
第348回利付国債(10年)	0.1	10,000	9,904	千円	2027/9/20
第353回利付国債(10年)	0.1	10,000	9,818	千円	2028/12/20
第362回利付国債(10年)	0.1	10,000	9,606	千円	2031/3/20
第364回利付国債(10年)	0.1	740,000	706,108	千円	2031/9/20
第365回利付国債(10年)	0.1	400,000	380,276	千円	2031/12/20
第370回利付国債(10年)	0.5	10,000	9,659	千円	2033/3/20
第374回利付国債(10年)	0.8	30,000	29,393	千円	2034/3/20
第1回利付国債(30年)	2.8	30,000	33,362	千円	2029/9/20
第121回利付国債(20年)	1.9	10,000	10,746	千円	2030/9/20
第141回利付国債(20年)	1.7	10,000	10,658	千円	2032/12/20
第146回利付国債(20年)	1.7	10,000	10,645	千円	2033/9/20
第148回利付国債(20年)	1.5	90,000	93,962	千円	2034/3/20
第149回利付国債(20年)	1.5	520,000	541,975	千円	2034/6/20
第150回利付国債(20年)	1.4	130,000	133,992	千円	2034/9/20
第151回利付国債(20年)	1.2	30,000	30,265	千円	2034/12/20
第153回利付国債(20年)	1.3	10,000	10,140	千円	2035/6/20
第155回利付国債(20年)	1.0	20,000	19,549	千円	2035/12/20
第158回利付国債(20年)	0.5	10,000	9,116	千円	2036/9/20
第160回利付国債(20年)	0.7	30,000	27,801	千円	2037/3/20
第161回利付国債(20年)	0.6	50,000	45,551	千円	2037/6/20
第162回利付国債(20年)	0.6	20,000	18,141	千円	2037/9/20
第163回利付国債(20年)	0.6	20,000	18,050	千円	2037/12/20
第165回利付国債(20年)	0.5	10,000	8,808	千円	2038/6/20
第166回利付国債(20年)	0.7	430,000	387,778	千円	2038/9/20
第167回利付国債(20年)	0.5	200,000	174,338	千円	2038/12/20
第168回利付国債(20年)	0.4	360,000	307,429	千円	2039/3/20
第169回利付国債(20年)	0.3	120,000	100,314	千円	2039/6/20
第172回利付国債(20年)	0.4	100,000	83,562	千円	2040/3/20
第173回利付国債(20年)	0.4	40,000	33,238	千円	2040/6/20
第175回利付国債(20年)	0.5	100,000	83,583	千円	2040/12/20
第176回利付国債(20年)	0.5	10,000	8,312	千円	2041/3/20
第181回利付国債(20年)	0.9	10,000	8,710	千円	2042/6/20
第183回利付国債(20年)	1.4	200,000	188,286	千円	2042/12/20
第185回利付国債(20年)	1.1	20,000	17,749	千円	2043/6/20
第186回利付国債(20年)	1.5	410,000	388,872	千円	2043/9/20
合計		5,930,000	5,676,287	千円	

## ○投資信託財産の構成

(2024年7月22日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 5,676,287	% 91.0
コール・ローン等、その他	562,284	9.0
投資信託財産総額	6,238,571	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 6,238,571,771
コール・ローン等	535,855,944
公社債(評価額)	5,676,287,300
未収入金	18,546,800
未収利息	6,998,749
前払費用	882,978
(B) 負債	14,505,418
未払解約金	14,505,418
(C) 純資産総額(A-B)	6,224,066,353
元本	5,430,022,187
次期繰越損益金	794,044,166
(D) 受益権総口数	5,430,022,187口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,462円

## &lt;注記事項&gt;

①期首元本額 7,611,064,078円  
 期中追加設定元本額 246,293,084円  
 期中一部解約元本額 2,427,334,975円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1462円です。

## ○損益の状況 (2023年7月21日～2024年7月22日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 49,711,922
受取利息	49,773,979
支払利息	△ 62,057
(B) 有価証券売買損益	△ 351,838,400
売買益	29,346,900
売買損	△ 381,185,300
(C) 先物取引等取引損益	△ 2,606,260
取引益	2,606,260
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 299,520,218
(E) 前期繰越損益金	1,460,277,047
(F) 追加信託差損益金	39,801,538
(G) 解約差損益金	△ 406,514,201
(H) 計(D+E+F+G)	794,044,166
次期繰越損益金(H)	794,044,166

(注) (B) 有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 日本国債ファンド (毎月決算型) 5,430,022,187円

## [お知らせ]

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

(2023年10月1日)